

中間振り返りの総括

平成 25 年度は自律的な地域運営を立ち上げ、まちの活気を取りもどす取り組み、さらに安全安心のまちづくりに重点を置いた次のような施策を展開しており、8 月末現在、全ての事業において概ね順調に推移している。

○主な取組の進捗状況と課題認識

・区内全地域に設立された地域活動協議会での「地域編集塾」開催を支援することにより、地域課題の洗い出しやその解決策の検討などが進められている。また、地域でのラウンドテーブル（シャベリバ）は開催場所も増え、新たなつながりが生まれており、自主イベントの開催など地域活性化に寄与している。今後は若い世代の参加を促すなど、さらなる地域活性化に向けた取組みを進めていく必要がある。

・防災訓練の実施や地域別防災プランの策定に向けた取組みを進めた。ベイエリアという地域特性に鑑みると、さらなる津波避難ビルの確保が必要であるため、地域住民との協働により、津波避難ビル確保に向けた取組みを進めていく。

・広報事業では広報紙の設置場所の拡大、全戸配布に向けた取組みの推進や SNS の活用などにより、広報の充実を図った。広報紙全戸配布に伴う設置場所の見極めや新たな媒体を用いた広報活動などの検討を行っていく必要がある。

○今後の対応方向（9 月以降における対応方向）

市民ファンドの構築、アートをキーワードとした住之江のブランド化や区役所に設けられた「きずなステーション」におけるつながりづくり（マルチパートナーシップ）の推進などにより、まちの活性化を旨とした取組みを進めていく。

またフェイスブックを導入した広報活動を実施し、さらなる広報の充実を旨とした取組みを進めていく。